

第101回本試験ライティング問題 模範解答例

2024年2月17日に行われました、第101回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】トレーニングについて240文字以上300文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】健康を意識して、トレーニングを始めた方は多いのではないのでしょうか。

キーワード1：筋肉

キーワード2：ジム

【模範解答1】295文字

筋力や体力をつけたいと思っても、まず何から始めてみればいいかわからない方も多いでしょう。ジムなどへ通って本格的な筋肉トレーニングを行う場合もありますが、近年では自宅で簡単にできるトレーニングも話題になっています。例えば、スクワットは初心者でも手軽に始められるトレーニングの一つです。しかし、トレーニングの効果を得心するためには、いくつかのルールも存在します。まずは、姿勢や呼吸法を正しく行うことです。そして、慣れてきたら徐々に回数を増やし負荷を加えることで、筋肉はより成長していきます。ジムに通うのは時間や費用が気になるという方は、ぜひ自宅でできる気軽なトレーニングから始めてみてください。

【模範解答2】282文字

トレーニングは、健康の向上のため、積極的に取り入れてほしい習慣です。中でも筋肉を鍛えたいという方は、ジムに通ってみるとよいでしょう。ジムという言葉だけ聞くと、本格的で意識が高い印象を持たれる方も多いかもしれませんが。しかし最近では、スキマ時間に通いやすく配慮されたジムも、幅広く展開されています。

筋肉をつけることによって、基礎代謝がアップしたり、姿勢が改善されたりと、うれしい効果も期待できるでしょう。冷え性や肩こりにも有効のため、幅広い世代の方にオススメです。もし短時間でプロの指導を仰ぎたい場合には、オンライン形式でのレッスンを、検討してみてもいいかもしれません。

【模範解答 3】 266 文字

スタイルをよくしたい、健康な体になりたい、といった理由から、**筋肉**をつけたいと思っている人は多いのではないのでしょうか。しかし筋肉をつけるためには、トレーニングをしなければいけません。トレーニングは疲れるし、汗もかくので、長く続けるには根気が必要になります。またトレーニングのやり方が分からなかったり、器具を持っていなかったりする人もいるでしょう。そんな人達にオススメなのが、**ジム**に通う事です。ジムならば器具も揃っていますし、お金を払っているため、簡単にトレーニングを投げ出そうとは思いません。ジムに通い、理想の自分を手に入れましょう。

【問.2】 SNS について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 さまざまな情報を得る手段として、SNS を活用されている方も多いのではないのでしょうか。

キーワード1：メリット

キーワード2：拡散

【模範解答 1】 265 文字

SNS は、今やなくてはならないコミュニケーション手段の一つとなっています。誰でも簡単に自分の近況を発信したり、興味がある相手の情報を入手したりすることができます。そして、SNS の最大の特徴は**拡散**力にあるといえるでしょう。発信した内容が人から人へどんどんシェアされていくことで、多くの人に情報を届けることができます。しかし、情報の拡散は**メリット**だけではなくデメリットもあります。間違った情報や他人を傷つけてしまう発言も、すぐに拡散してしまうのです。誰もが気軽に発信できるツールだからこそ、内容には注意をして投稿することが必要となるでしょう。

【模範解答 2】 242 文字

SNS は、情報収集をしたり共通の仕事や趣味をもつ人とつながったりする手段として、生活に欠かせない存在です。SNS では、ハッシュタグや検索機能を利用し自分が欲しい情報を得ることができます。また良いと思った情報は、**拡散**する機能もあるため、ビジネスとして商品の宣伝に活用できる**メリット**もあります。そして SNS でたくさん拡散されたために人気が出た商品や芸能人も多く見られます。ただ、誤った情報が拡散される可能性もあるため、SNS からの情報を信じすぎないなど、適度な距離をたもって正しく活用することが必要です。

【模範解答 3】 293 文字

SNS は、対面ではなく遠くにいる他者とつながることができます。特にスマートフォンなど、気軽に持ち運べるデバイスで利用する方も多く見かけます。そしてスマートフォンですぐに投稿できる気軽さから、日記のように利用する方も多いことでしょう。しかし SNS は一度**拡散**されるとデジタルタトゥーとして削除が困難になるこ

ともあります。そのため気軽に利用しすぎず、適度に活用していくことが重要です。また、SNSによってトレンドを把握しやすいというのも**メリット**の1つです。最近ではSNSを使った採用活動を行う企業も増えています。SNSは利用するユーザーが多く、採用情報が拡散されやすいため学生自身の目にもとまりやすいでしょう。

【問.3】卒業旅行について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 学生生活の締めくくりとして卒業旅行に行かれた方は少なくないでしょう。

キーワード1：仲間

キーワード2：思い出

【模範解答 1】 256 文字

学生時代の最後の**思い出**作りに、親しい**仲間**と卒業旅行を計画することが多いようです。卒業旅行の時期は卒業式前後の3月に行われることが多く、その計画は1年前以上前から始めだす人もいます。学生にとっては、先生や親など大人を伴わないワクワクするイベントで、計画自体も楽しいものです。また旅行の行先は国内海外を問わず、そこで行われるイベントも楽しみのひとつになります。国内旅行ではディズニーランドなど仲間と楽しく過ごせる場所が人気のようです。そして海外旅行は学生にとって初めての体験になる人もいて、やはり人気があるようです。

【模範解答 2】 263 文字

学生時代の楽しかった**思い出**が、卒業旅行だったという方もいるのではないのでしょうか。卒業旅行とは、学生が在学中の学校を卒業する記念に、同級生と旅行をすることです。海外へ旅行に行ったり、日本国内の温泉旅館に泊まったり、旅行先は様々です。そして新年が明けると、卒業旅行をする学生を目的とした旅行プランなども出てきます。このプランは通常の旅行プランよりも割安である場合が多く、お得に旅行を楽しむことができます。卒業旅行は、学生時代を共に努力した**仲間**たちとの最後の思い出作りの場となりますので、ぜひ親しい同級生との旅行を楽しんでください。

【模範解答 3】 246 文字

学生時代の**思い出**作りとして、卒業旅行へ行った方も多いのではないのでしょうか。卒業シーズンは社会人の休暇が多い時期と重ならないため、比較的安価に楽しめます。また、学校の授業や試験、社会人としての生活を意識しなくても良い時期なので、**仲間**との予定を合わせやすく、長期間旅行できるというメリットも存在します。そのうえ、学生時代に普段できない貴重な体験をしておくことで、今後の人生を豊かにする材料にもなり得るでしょう。学生時代を共に過ごした**仲間**との思い出作りに、卒業旅行へ行ってみるのはいかがでしょうか。

【問.4】緊張をほぐす方法について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *文字数は下にカウントされています。ご参考ください。
- *書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】試験や面接を受ける時、どうしても人は緊張してしまうものです。

【模範解答 1】 359 文字

緊張とは、心や体が張り詰めた状態になることを指します。大切な試験前に緊張を感じ、手足の震えや喉の乾きなどを覚える人も多いでしょう。緊張していると、本来持っているはずの力を100パーセント発揮できないため、いかに緊張をほぐすかが重要なポイントになります。緊張をほぐす方法のひとつが、なるべく普段通りのリラックスした自分であることです。例えば、試験会場にいつも使っていた参考書を持って行ったり、試験の待ち時間に家族やペットの写真を見たりすると心が落ち着くので効果的です。しかし、緊張と闘うためには当日の心構えや工夫だけではなく、事前の準備が何よりも大切です。試験勉強や予行練習をしっかりと行い、自信をつけて臨めば、きっと期待していた成果が得られます。緊張という敵に打ち勝つために、自信という味方をつけて試験へ挑みましょう。

【模範解答 2】 329 文字

面接やプレゼン、スピーチといった大事な場面で緊張してしまうという人は多いのではないのでしょうか。過度な緊張は失敗したらどうしようとさらに悩んだり落ち込んだりしてしまい、パフォーマンスに悪い影響を与えてしまいます。そして緊張しているときは呼吸が浅くなったり、体が強張っていたりするため、深呼吸やストレッチをして自律神経を整えるよう意識しましょう。また好きな音楽を聴いたり、好きな香りを嗅いだりすると気が紛れるので効果的です。さらに、失敗や不安よりも、自分が成功した姿や成功したあとのご褒美をイメージすることも重要です。普段から人と話すことが苦手な人もネガティブ思考の人も、ぜひリラックスしたりポジティブに考えることを意識したりして大事な場面に挑んでみてください。

【模範解答 3】 349 文字

大事な面接や試験の前になると、どうしても緊張してしまうという方は多いのではないのでしょうか。それだけ真剣だという証拠ではありますが、できれば緊張を最小限におさえたいものです。そしてひどい緊張をすると、顔や声がこわばり、思考の停止にもつながりますので、ほどほどにするのがよいでしょう。たとえば、顔を大きく動かしたり、大きな声を出したりしてみると表情筋がほぐれます。また大きく深呼吸して目を閉じると、まわりを気にせず自分のことに集中できるでしょう。しかし緊張とは、自分をいつも以上によく見せようと思う時に発するものだともいわれています。十分に努力してきたのであれば、ありのままの自分をまず自分が受け入れてあげましょう。どんな結果でも受け入れる覚悟ができていれば、緊張よりも真剣さが相手にも伝わるはずですよ。

ライティング問題-総評-

第101回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第101回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4 択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4 択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用方法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 トレーニングについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード1：筋肉 デザイン2：ジム

【解答例 1】

「日頃から定期的にトレーニングをする人も多いと思いますが、その目的は様々です。」

上記解答例では、「トレーニング」が誤変換となります。

【修正例 1】

「日頃から定期的にトレーニングをする人も多いと思いますが、その目的は様々です。」

上記修正例では、誤変換を修正しました。「トレーニング（解答例では「二」が漢数字表記となっていました）」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「大事なことは継続するということで、毎日ではなくても週に2、3回はトレーニングした方が効果が出やすくなります。ジムに通うのがなかなかできない人もいるでしょうから、家でできるトレーニングをおすすめします。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されておりません。

【修正例 2】

「大事なことは継続するということで、毎日ではなくても週に2、3回はトレーニングした方が効果が出やすくなります。しかしジムに通うのがなかなかできない人もいるでしょうから、家でできるトレーニングをおすすめします。」

上記修正例では、接続詞「しかし」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 3】

「暖くなるこれからの季節に、スキマ時間にできる自宅でのトレーニングを、健康のために始めてみてはいかがでしょうか。」

上記解答例では、1文に助詞である「に」が多用された文章です。

【修正例 3】

「暖くなるこれからの季節に、スキマ時間でできる自宅でのトレーニングを、健康のために始めてみてはいかがでしょうか。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「最近では24時間営業のジムやワンツーマンでトレーニングを指導してくれるパーソナルジムも増えています。」

上記解答例では、「ワンツーマン」が誤入力となります。

【修正例 4】

「最近では24時間営業のジムやマンツーマンでトレーニングを指導してくれるパーソナルジムも増えています。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「マンツーマン」が正しい表現となります。特にWEBライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「基礎代謝を**上げる**ことでエネルギーの消費量を増やし、ダイエット効果が期待できます。」
「ジムに通い仲間をつくることで、モチベーションを**あげる**ことができるかもしれません。」

上記解答例では文章中に「上げる」「あげる」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 5】

「ジムに通い仲間をつくることで、モチベーションを**上げる**ことができるかもしれません。」

上記修正例では、「上げる（漢字表記）」に統一しました。同一文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

問 2 SNS について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1：メリット キーワード 2：拡散

【解答例 1】

「しかし SNS の拡散力を活用すれば、今までリーチできなかった**潜在顧客**にもリーチを広げられます。」

上記解答例では、「潜在顧客」が誤入力となります。

【修正例 1】

「しかし SNS の拡散力を活用すれば、今までリーチできなかった**潜在顧客**にもリーチを広げられます。」

上記修正例では、文意を鑑みて誤入力を修正しました。「潜在顧客」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「自分の知りたい情報に一瞬でアクセス**出来たり**、即座に友人や家族と連絡が取れるのは SNS の大きなメリットだろう。」

上記解答例では、1 文の中に並列を表現する「～たり」が一度のみしか使用されていません。

【修正例 2】

「自分の知りたい情報に一瞬でアクセス**出来たり**、即座に友人や家族と連絡が**取れたりする**のは SNS の大きなメリットだろう。」

上記修正例では、「～たり」を 2 回使用し、また文意を鑑みながら自然な形に修正しました。

特に WEB ライティングでは誤字脱字が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもでき

ます。

【解答例 3】

「SNS には使う**人**の用途によってさまざまな種類があり、使い分けて活用しているという**方**も多いのではない
でしょうか。」

上記解答例では 1 文中に「人」「方」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 3】

「SNS には使う**人**の用途によってさまざまな種類があり、使い分けて活用しているという**人**も多いのではない
でしょうか。」

上記修正例では、「人」に統一しました。文中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしま
いますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は
見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「ここ数年で知名度が上がった言葉の一つとして、SNS が**上げられる**のではない
でしょうか。」

上記解答例では、「上げられる」が誤変換となります。

【修正例 4】

「ここ数年で知名度が上がった言葉の一つとして、SNS が**挙げられる**のではない
でしょうか。」

上記修正例では、誤変換を修正しました。「挙げられる」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは
誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを
行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「スマホの普及により SNS を利用する人が増えている。今回は SNS のメリットとデメリットについて紹介す
る。SNS のメリットは離れていても他者と繋がれる事だ。」

上記解答例は、短い文が連続した表現となっております。

【修正例 5】

「スマホの普及により SNS を利用する人が増えている中、今回は SNS のメリットとデメリットについて紹介
する。SNS のメリットは離れていても他者と繋がれる事だ。」

上記修正例では文意を鑑みながら、3 つの短文を 2 文にまとめる形で修正いたしました。

短文での表現は、文章に勢いを付ける意味では有効ですが、主語が抜けた表現などとなり口語（話し言葉）に近い表現となってしまいます。また、このような表現は試験では減点対象となってしまいますので、短文表現はあまり使わないように注意しましょう。

問3 卒業旅行について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：仲間 キーワード2：思い出

【解答例1】

「卒業旅行とは学校を卒業する直前にいく旅行のことを指して言います。」

「気の置けない仲間と一緒にいく卒業旅行は、あれこれと計画を立てる段階も楽しいものです。」

上記解答例では文章中に「いく」「行く」のように異なる表現が混在しております。

【修正例1】

「卒業旅行とは学校を卒業する直前に行く旅行のことを指して言います。」

上記修正例では、「行く（漢字表記）」に統一しました。文中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例2】

「卒業旅行では観光地を訪れたり、アクティビティを楽しんだりすることが一般的です。卒業後も同じ思い出を持つもの同士であるため絆が深まります。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されておられません。

【修正例2】

「卒業旅行では観光地を訪れたり、アクティビティを楽しんだりすることが一般的です。そして卒業後も同じ思い出を持つもの同士であるため絆が深まります。」

上記修正例では、接続詞「そして」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例3】

「卒業旅行割引を実施しているツアー会社も多いため、一度調べてみてはいかがでしょうか。」

上記解答例では、「実施している」が誤入力となります。

【修正例3】

「卒業旅行割引を**実施している**ツアー会社も多いため、一度調べてみてはいかがでしょうか。」

上記修正例では誤入力を修正しました。「実施している」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「卒業旅行は行く目的をはっきり**と**させ、計画をしっかりと**と**立ててから行く**と**良いでしょう。」

上記解答例では、1文に助詞である「と」が多用された文章です。

【修正例 4】

「卒業旅行は行く目的をはっきりとさせ、計画をしっかりと立ててから行く**のが**良いでしょう。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「**高校や大学において気の置けない仲間と一緒に出掛ける卒業旅行を楽しみだという人は多いのではないで**しょうか。」

上記解答例は、読点が適切に使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例 5】

「**高校や大学において、**気の置けない仲間と一緒に出掛ける卒業旅行を楽しみだという人は多いのではないでしょうか。」

上記修正例では、文意を鑑みて適切な場所に読点を追加する形で修正しました。読点は適切に使用すると読者にとって読みやすい文章となりますので、上手く使うよう心がけましょう。

問 4 緊張をほぐす方法について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「全く緊張しないのは難しいですが、緊張をほぐす方法はいくつか知られています。

1つは深呼吸をすることです。短時間でも良いので深呼吸をすることによって、呼吸も整い緊張がほぐれることがあります。ゆっくり息を吸って吐くことを何回か繰り返すと不思議とリラックスできます。

もう1つは体を動かすことです。あまり激しくせず体を動かすことによって、気も紛れ緊張がほぐれることがあります。ガムをかんだり、手首足首をまわしたりするだけでも効果があります。

そしてもう1つは自信を持つことです。試験前などでは、大きな鏡の前で自分の顔を見つつ、今までやってきたことを思い出しながら、やることはやった、大丈夫と呟いてみてください。」

上記解答例は、箇条書きのような表現となっております。

箇条書きでの記載は、見た目はスッキリしていますが、文章としては内容が薄くなってしまいがちです。そのため、クラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くあります。そして試験でも大きな減点対象となっておりますので、箇条書きではなくしっかりと文章を作成するよう心がけましょう。

【解答例 2】

「緊張の原因の一つに、自信がない、失敗するかもしれない、という不安な思いがあることです。」

上記解答例では、表現のねじれが見受けられ、違和感があります。

【修正例 2】

「緊張の原因の一つは、自信がない、失敗するかもしれない、という不安な思いがあることです。」

上記解答例においては、緊張する理由について文の後半で例示しております。しかし、助詞の使い方と文末の「～あることです」の繋がりが不十分となっております。そのため上記修正例では文意を鑑み助詞を修正しました。文中に表現のねじれが生じてしまうと、読者に違和感を与えてしまいかねないので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例 3】

「体や頭が思うように動かなくなってしまう緊張は避けたいですね。」

「スポーツ選手が、ガムを噛んだり、首を回したりしているのは、これと同じ効果があるからです。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 3】

「体や頭が思うように動かなくなってしまう緊張は避けたいです。」

上記修正例では「避けたいですね」の口語表現を「避けたいです」という文語表現に修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

【解答例 4】

「人前で話すのであれば、人だと思わず、別のものに置き換えてみる。」

「好きな音楽を聴くなど、様々な方法があると言われています。」

上記解答例では1つの文章の中に「置き換えてみる」「言われています」のように異なる文末表現が混在しています。

【修正例 4】

「好きな音楽を聴くなど、様々な方法があると**言われている。**」

上記修正例では、「である調」に統一しました。同一の文章内に「ですます調」「である調」などの文末表現が混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいます。このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「**一番古い記憶では、幼いころのお遊戯会で発表をするときに、とても緊張した覚えがあります。**」

上記解答例は「とても緊張した覚えがあります」という主観的な表現がみられます。時に「私は●●です」「●●だと思います」のような表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の中、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、**助詞の連続使用や使い方**、**句点読点の使い方**、**誤字脱字や誤変換**、**同様表現の繰り返し**、**表現のねじれ**、**短文や箇条書きのような表現**などが多く見受けられました。

そして、**主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。**

また、指定キーワードが使われていなかったり、文章の内容が指定テーマから逸脱したりすると大幅な減点となります。なので、文章作成後、一度読み返して指定テーマについてしっかりと書かれているか確認するようにしましょう。

他にも1文に情報を詰め込み過ぎてしまうと、**助詞の連続使用**など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。